

令和7年度 つながる。やまぐち応援寄附金活用状況

「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を進めていきますので、
今後も山口県への応援をよろしくお願いいたします

山口県のふるさと納税は、山口県で支援を必要としている方々との架け橋として、
4分野7テーマで寄附を募集しました。

令和7年度は、山口県を応援して下さる全国各地のみなさまからご寄附をいただき、
下記の事業に活用させていただきました。

みなさまからの温かい応援に、心から感謝申し上げます。

<産業振興による雇用の創出>

半導体・蓄電池産業集積強化事業

事業費 170,484千円

県では、「半導体・蓄電池分野」を重点成長分野に位置付け、産学公で設置した協議会の下、**企業誘致の推進**をはじめ、**研究開発・事業化の促進**、**国内外への販路拡大**、**人材の育成・確保等**の取組を積極的に展開しており、この取組の一部に寄附金を活用させていただいています。

〈具体的な取組例〉

研究開発・事業化の促進

- ・やまぐち産業イノベーション促進補助金において、特別枠として初めて1事業を採択
- ・令和7年12月に半導体・蓄電池分野の国際的な展示会「SEMICON JAPAN」に出展

国内外への販路拡大

令和7年10月に県内企業等からなる訪問団が訪台し、企業の見学会や商談会等を開催

人材の育成・確保

高専生を主な対象とした、「半導体・蓄電池業界への理解促進」と「県内関連企業の認知度向上」に向けた以下の取組を実施

- ・業界研究セミナー
- ・企業講演や企業視察
- ・学生を対象とした意識調査、検討会の開催（年2回）



<結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える環境の整備>

やまぐち子育て応援第2子以降保育料無償化事業

事業費 999,011千円

県では、若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを生み育てることができるよう、社会全体で子どもと子育て世帯を支える県づくりを推進しています。

令和7年度においては、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進するため、市町との共同による本県独自の取組として、**第2子以降の3歳未満児の保育料について、所得制限や同時入所要件を設けない形での無償化**を実施し、その取組の一部に寄附金を活用させていただきました。

寄附金は、こうした県独自の子育て支援策を着実に実施するための貴重な財源として活用しており、**子育て世帯が将来の見通しを持って安心して子育てできる環境づくり**につながっています。



<時代に対応した持続可能な地域社会の形成>

やまぐち元気生活圏活力創出事業

事業費 22,083千円

県では、人口減少が急速に進む中山間地域において、既存の集落の枠を超えて広域的に日常生活を支え合う「**やまぐち元気生活圏**」づくりを推進し、市町や地域が主体的に取り組む地域づくり活動の支援に取り組んでいます。

いただいた寄附金は、「やまぐち元気生活圏」取組地域を対象に、**生活機能の確保**や**交流活動の促進**など地域課題の解決に向けた取組の支援に活用させていただきました。

〈具体的な取組例〉

- ・地元農産物を活用した特産品づくり
- ・コミュニティバスの導入
- ・離島の港湾施設改修
- ・関係人口の創出
- ・交流施設の整備等



<次代を担う人材の育成と新たな人の流れの創出・拡大>

「住んでみいね！ぶちええ山口」ＹＹ！ターン推進事業

事業費 67,214千円

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議を中心に、深刻化する人口減少の克服に向け、新たな人の流れを創出・拡大するため、**移住希望者等に本県の魅力や暮らしやすさを発信するなど移住・定住の促進**に取り組み、この取組の一部にお預かりした寄附金を活用させていただいております。

令和7年度は山口県の魅力を発信するＹＹ！ターンセミナーやオンラインセミナーを開催し、ご参加いただいた延べ800人以上の方に山口県の魅力や支援制度等の情報発信を行いました。

〈具体的な取組例〉

- ・首都圏等で開催される移住フェアへの出展
- ・相談窓口における移住相談対応
- ・移住支援サイトやSNS等のデジタル技術を活用した移住潜在層への戦略的な情報発信
- ・協賛企業等との連携による移住に伴う経済的負担に対する支援
- ・移住検討者への来県交通費補助金 ・移住者への定住支援



<次代を担う人材の育成と新たな人の流れの創出・拡大>

県立学校指定寄附

事業費 1,246千円

寄附金をいただいた学校がそれぞれの学校のニーズに合った活用事業計画を作成し、様々な事業に活用しています。

《図書室の書籍充実》

「読書年間12冊以上」の目標を掲げ、書籍充実に活用した。タブレット端末を利用した新刊案内や掲示の工夫、図書イベントの実施などにより読書への関心を促している



《作業実習の充実》

校内で収穫した野菜や地域の果物を使ってソースづくりを行った。講師や参加者とともに協力しながらものづくり活動を行うことで、チャレンジ精神や地域へ貢献できる喜びを学んだ



《折りたたみ椅子の整備》

コロナ感染症対策による継続したアルコール消毒の実施で劣化した椅子を購入し、授業や学校行事で活用している



《職業分野別講座の実施》

大学・職業選択や将来設計、大学での具体的な様子など興味深い話を人生の先輩から直接聞くことで、自らの進路を深く考える機会を得た



<次代を担う人材の育成と新たな人の流れの創出・拡大>

やまぐちパラアスリート育成支援事業

事業費 1,000千円

パラリンピックやデフリンピック、ヴァータスグローバルゲームズなど世界での活躍を目指す県内のパラアスリートを県民全体で応援するため、（公社）山口県パラスポーツ協会が「**やまぐちパラアスリート育成支援事業**」を実施しており、認定を受けた「**やまぐちパラアスリート**」に対して、**海外遠征費用や国内の強化合宿への参加費、競技用具の購入費等を助成**しています。

平成29年度の制度創設以来、**のべ59名の「やまぐちパラアスリート」を認定**しており、このうち、平成29年度認定選手の高山侑大選手は、昨年12月の防府読売マラソンにおいて、知的障害者の世界記録を樹立されました。また、令和7年度認定選手の奥原彩花選手は、FIDバスケットボールの日本代表候補選手に選出され、日本代表チームの強化合宿に参加するなど、国内トップレベルで活躍されています。

お預かりした寄附金は「やまぐちパラアスリート育成支援事業」に繰り入れ、選手の皆さんへの助成金の一部として活用させていただきました。



ふるさと納税の申込・問い合わせ先

山口県税務課企画班（ふるさと納税担当）〒753-8501 山口市滝町1-1

電話 083-933-2275 FAX 083-933-2299 Eメール furusato@pref.yamaguchi.lg.jp



税務課HP